

「造形遊び」のすすめ①

～「造形遊び」から「絵や立体、工作に表す活動」へのつながり～

新潟市立白根小学校 教諭 椎野 越子

1 はじめに

「造形遊び」と表現のつながりを考えて、図工の授業をしています。

「造形遊び」で存分に、材料の色、大きさ、手触りなどとかかわることで、子どもたち自身が表したいことを考えられるようになってきているからです。

2 活動の実際

「でこぼこ ざらざら 大集合」(造形遊び) → いろいろ うつつて (絵や立体に表す)



たくさんの新聞紙を用意し、

「何ができるかな？」と投げ掛けると、子どもたちは様々なことを試します。丸めたり、ちぎったり、かぶったり、埋もれたり・・・

新聞紙をくしゃくしゃにしていくうちに手触りが変わっていくことや、固くするにはくるくると丸めたり重ねたりするといったことなどにも気がきます。

「造形遊び」で新聞紙とかかわった後に「絵や立体、工作で表す活動」を行います。

大きな紙をくしゃくしゃにして袋にし、中に新聞紙を詰めて、「楽しい友達」をつくる題材です。

新聞紙を丸めたり、くしゃくしゃにしたことがある子どもたちは、大きな紙にも躊躇せず、取り組み始めます。大きな紙を袋にし、中に新聞紙を詰めるときには、硬めにしたい子は、大きなままたくさん詰めます。小さくちぎってふわっとさせている子もいます。袋の手触りから思い付いた「カメ」や「卵」「魚」などをもとに、自分なりの「楽しい友達」にしていきました。



3 おわりに

何をつくるか決めずに、思い付いたことを試せる「造形遊び」で材料と存分にかかわることが子どもたちの「こんなものつくりたいな」という発想の広がりにつながると感じています。立体だけではなく、様々な題材を造形遊びとつなげて検証したいと考えています。

「造形遊び」のすすめ②

～「造形遊び」から「絵や立体、工作に表す活動」へのつながり～

新潟市立白根小学校 教諭 椎野 越子

1 はじめに

「造形遊び」と「絵や立体、工作に表す活動」とのつながりを考えて、図工の授業をしています。「造形遊び」で存分に、材料の色、大きさ、手触りなどに関わり、造形的な活動を行うことが、子どもたち自身が表したいことを、無理なく見付け、形や色、材料を生かしながら、どう表すかを考えることにつながるからです。

学習指導要領でも、「A表現」(1)ア(造形遊びをする活動)及びイ(絵や立体、工作に表す活動)にはそれぞれの特徴があることを踏まえ、どちらの活動も充実するようにと記されています。

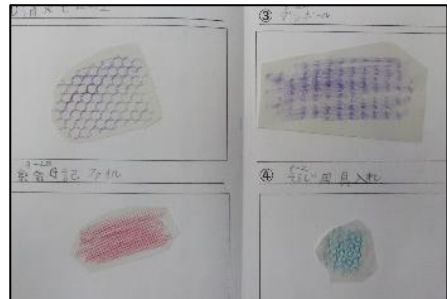
2 活動の実際

(1) 3年生「でこぼこ ざらざら 大集合」(造形遊び)

➡ いろいろ うつつて (絵や立体に表す)

① 【造形遊びをする】

校舎内のいろいろなでこぼこ・ざらざらを見付けて写し取り、写し取った形の面白さを味わいながら、「でこぼこ・ざらざらカタログ」をつくります。この形は、どの色で写し取るといいかを考え、色を選んでいきます。



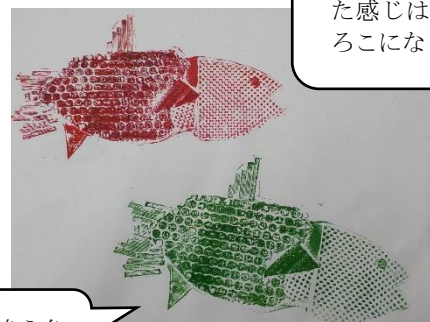
☺ 写すときの感覚や触った感じを通して、いろいろな

形の面白さに気付いたり、自分なりのイメージをもったりしています。そのイメージに合わせて色を選んでいきます。

② 【絵や立体に表す活動をする。(版に表す)】

でこぼこ・ざらざらしている材料の感じを捉え、表したいものを形や色を工夫して表す題材です。

☺ 子どもたちは、造形遊びで経験した、材料に合わせた色や形を生かし、自分の表したいものを見つけたら、表し方を考えたりしていきます。

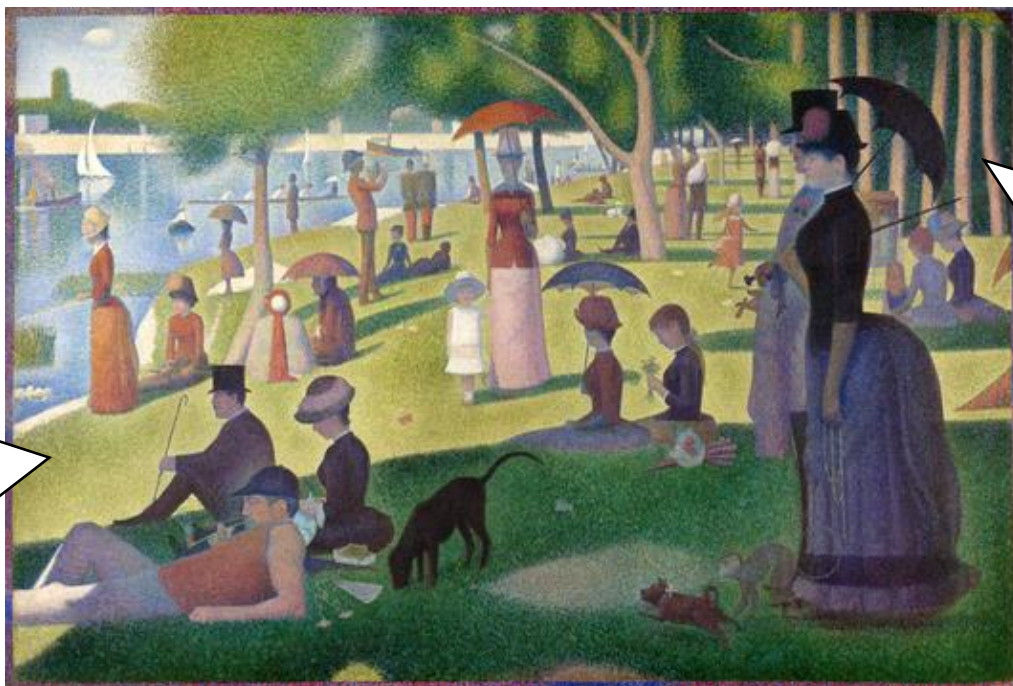


「このプチプチした感じは、魚のうろこになりそう」

「同じ材料でも色を変えると違う魚に見えるな」

3 おわりに

低・中学年での実践より、「造形遊び」で材料と存分に関わることが子どもたちの「こんなものつくりたいな」という発想の広がりにつながっていると感じています。今後は、高学年の造形遊びも充実させたいです。「発想・構想」や「技能」に関して苦手意識をもつことが多い高学年の児童にも、表現することが楽しいと感じてもらいたいです。



1 どんなことをしている人がいますか？(よく見て発見しよう)

Blank writing area with two horizontal dashed lines for student response.

2 どんな会話・つぶやきが聞こえますか？^{そうぞう}想像して書きましょう。

例：「なかなかつれませんね」（つりをしている人）

3 ^か描き方の^{とくちょう}特徴をよく見て、^{まね}真似して試してみましょう。

試してから、気づいたことを書きましょう。

Blank writing area with two horizontal dashed lines for student response.

6年生図工

「この筆あと
どんな空？」

6年 組 番

名前

作者名 _____

題名 _____



- 1 この絵は、絵の具を厚く塗った筆あとをそのまま残しています。どんな印象がしますか？

.....

.....

- 2 描き方の特徴をよく見て、真似して試してみましょう。

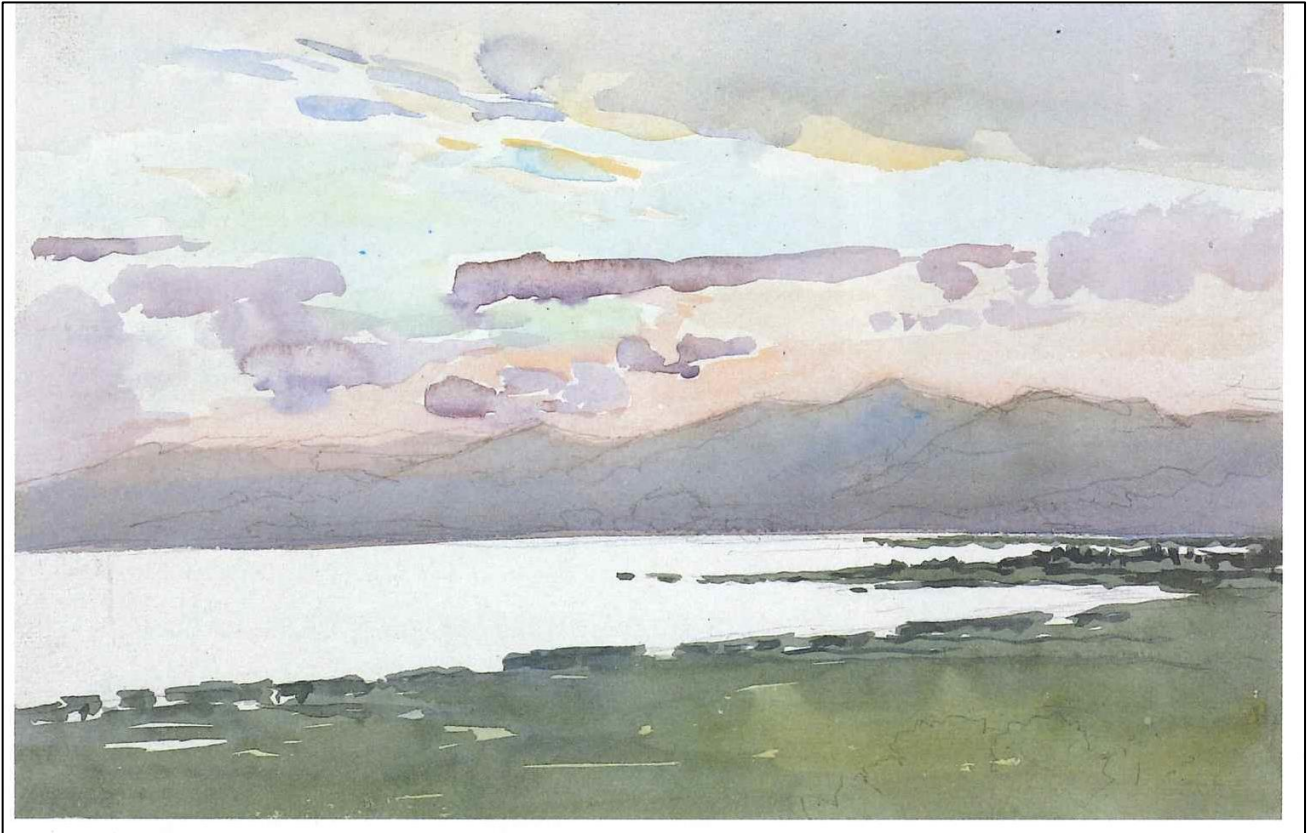
試してから、感じたことや気づいたことを書きましょう。

.....

.....

作者名 _____

題名 _____



1 水彩絵の具をどのように使うとこんな筆あとになりますか？

.....

.....

2 ^か描き方の特徴をよく見て、^{とくちょう}真似して試してみよう。

試してから、感じたことや気づいたことを書きましょう。

.....

.....

6年生図工「墨と水から生まれる世界」ワークシート

6年 組 番 名前

★この学習で学んでほしいこと★（評価はこの学習が全部終わってから書きます。）

「墨と水から生まれる世界」を通して学んでほしいこと	自己評価 ◎○△	先生評価 ◎○△
【知識・技能】 墨と水，いろいろな用具を使って，新しい表し方を試している。		
【思考・判断・技能】 墨と水，いろいろな用具を試して生まれた表し方から，自分が表したいことを考え，工夫して表している。		
【主体的に学習に取り組む態度】 新しい表し方を6つ以上試したり，自分や友達の表し方から，墨と水のよさや面白さを見つけたり，進んで表す活動に取り組んでいる		

★学習の記録（振り返り）★

時間	振り返り	自己評価 ◎○△
1時間目	① 試した表し方に○をつけよう	
試す	直線 曲線 にじみ スタンピング	
	かすれ 薄い墨 濃い墨	
	その他()	
	②試して，面白いなと思った墨の効果は？	
	
	
	

<p>2時間目</p> <p>見る・</p> <p>考える</p>	<p>★友達の表し方で「すてきだな」「面白いな」と 思ったものは、どんなものですか？ </p> <p>① No. の </p> <p>理由： </p> <p>② No. の </p> <p>理由： </p> <p>★自分でもやってみたいものは、 No. の </p>	
<p>3時間目</p> <p>表す</p>	<p>★墨と水、いろいろな用具でどんな感じを表した いですか？ </p> <p>★やってみて、どうなりましたか？ </p>	

